

第2回 製紙4社によるエタノール／SAF を出口とする検討会 議事次第

[第2回 検討会 開催概要]

日時	2026年7月17日(金) 13時00分～15時00分
場所	NEDO 霞が関オフィス (〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル 20階)

[概要]

木質バイオマスは、バイオものづくりにおける原料として、賦存量や炭素排出量、サーキュラーエコノミーの実現などの観点からその活用が期待されており、中でも、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は脱炭素社会の実現に資する燃料の1つとして普及が大きく期待されている。その一方で、木質バイオマスを原料とするバイオエタノールや持続可能な航空燃料(SAF)は、既存燃料と比較して一般的にコストが高いという課題や CORSIA 認証適合に向けた課題など、社会実装に向けて乗り越えるべき課題がある。

第1回検討会ではバイオものづくり革命推進事業に採択されている製紙4社から自社のバイオエタノール事業に関してプレゼンテーションをいただいた上で、事務局より各社様とのお打合せ等今後の調査の進め方と CORSIA 認証適合に関する過年度調査結果の概要説明があった。

木質バイオマスを原料とするバイオエタノール／持続可能な航空燃料(SAF)の社会実装に向けて、多角的な視点での価値訴求の検討を深めると共に、CORSIA 認証適合に向けて必要な調査・検討を重ねる。

[開催頻度]

- ・ 2か月に一回程度、対面を原則としつつオンライン(Teams)も併用
- ・ 開催場所は NEDO 分室(大同生命霞が関ビル)

[検討テーマ]

- (1) 木質バイオマスを原料とするバイオエタノールの価値訴求に向けた検討/SAF・その他出口の価値訴求に向けた調査・検討
- (2) CORSIA 認証適合に向けた調査・検討

[第 2 回 検討会進行表]

項目	発表者	時間		内容
①	三菱総研	13:00 13:05	5 分	議事内容のご紹介
②	調査(1) 木質バイオマスを原料とするエタノール/SAF・その他出口の価値訴求に向けた調査・検討			
	三菱総研	13:05 13:20	15 分	製紙会社 4 社ヒアリング結果の総括
	質疑等	13:20 14:20	60 分	安全保障価値/環境価値/訴求価値/経済波及効果等に係る質疑及び議論
	有識者委員講評	14:20 14:35	15 分	質疑を踏まえ、議論の深化及び多角的視点からの講評
	三菱総研	14:35 14:45	10 分	今後の調査の進め方
③	調査(2) CORSIA 認証適合に向けた調査・検討			
	三菱総研	14:45 14:48	3 分	ICAO WG5 への IP 提出に係る進捗報告
	東京農工大学	14:48 14:53	5 分	ICAO WG5 に係る現地報告内容のご紹介
	質疑等	14:53 14:57	4 分	質疑及び議論
④	三菱総研	14:57 15:00	3 分	閉会挨拶

[第 2 回 検討会参加者情報（敬称略）]

区分	所属	役職	氏名
委員長	千葉大学	名誉教授	関 実
委員	日本製紙連合会	常務理事	原田 隆行
委員	株式会社みずほ銀行	産業調査部 部長	武藤 真
委員	大興製紙株式会社		
委員	大王製紙株式会社		
委員	日本製紙株式会社		
委員	王子ホールディングス株式会社		
オブザーバー	経済産業省商務情報政策局 商務・サービスグループ 生物化学産業課		
オブザーバー	経済産業省 製造産業局 素材産業課		
オブザーバー	経済産業省 資源エネルギー庁 資源・燃料部 燃料供給基盤整備-		
オブザーバー	国土交通省 航空局 カーボンニュートラル推進室-		
オブザーバー	農水省 林野庁 林政部 木材利用課		
事務局	NEDO バイオ・材料部 バイオもののづくり室		
調査受託者	株式会社三菱総合研究所		

以上